

那須の歴史
再発見!

那須町の 地域文化遺産

vol.18



西光寺

今回は芦野地区の西光寺を紹介します。

西光寺は、浄土宗の寺院で、無量山西光寺と称します。開基は天正11年(1583)とも寛永年間(1624・1644)とも言われていますが、慶長年間(1596・1615)以前と通説では考えられています。西光寺はたびたび火災や災害に遭っており、安政4年(1853)に芦野宿を焼いた火事では、門や本堂、付随する八幡社(現在は国道294号線の向かい側に位置する／那須与一の兄・幹隆が勧請したとされ、江戸時代に芋淵から芦野へ遷座

族は神田姓に改めたという話が伝わっています。これにより、西光寺は芦野家からは無縁(無給の状態)となりました。

西光寺の境内には、慶長17年に製作された板碑(中世のお墓)が存在します。また、戊辰戦争時に白河の戦いで戦死した忍藩士・柘植善太夫宗英(1841・68)／忍は現在の埼玉県行田市)の官修墳墓があります。柘植は、真影流の剣、大島流の槍の使い手として将来有望な若者だったと言います。

400年以上の歴史を持つ西光寺には、芦野の歴史が遺されています。

西光寺は、交代寄合旗本芦野氏のお家騒動の舞台ともなった場所としても知られています。慶長16年(1611)、幼少の芦野資泰が家督を継ぎ、芦野氏18代当主に就くと、重臣の一人である藤田九右衛門(芦野家が関ヶ原合戦時に徳川家康への人質として出した人物で合戦後に加増を受けた)が芦野資泰への謀反を企て密議を行った場所が西光寺とされており、その後九右衛門は西へ逃げるも近畿地方で討ち取られ、一



板碑

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007



那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007



探訪館
ホームページ

特別展「未来へつなぐ！
那須町の歴史文化遺産」
好評開催中です

町を代表する文化財を一举に紹介するとともに、人口減少のなかで地域での文化財継承・探訪館の役割について考えます。

▼会期 12月6日(日)まで
▼入館料 大人300円(中学生以下無料)

シンポジウム「これから
の地域における歴史文化
遺産の継承」

▼日時 10月24日(土)

午後1時30分～4時30分

▼定員 50人(要予約先着順)

▼場所 ゆめプラザ・那須

▼基調講演 天野真志氏「地域歴史文化の未来―各地の取り組みから考える」(国立歴史民俗博物館准教授)

▼報告① 堀野周平氏「鹿沼まると博物館における文化遺産の継承」

産の継承」
▼報告② 高村恵美氏「力をあわせて、すこしずつ―常陸大宮市の文化財を守る取り組み―」



申込みフォーム

黒田原ウォーク

「黒田原の成り立ちを知ろう！」

▼日時 11月22日(日)

午後2時～4時

▼定員 15人(要予約先着順)

▼集合場所 役場前駐車場

展示解説

▼日時 午後2時～3時

10月25日(日)、11月3日(火)・祝

12月6日(日)

無料入館日

▼日時 10月25日(日)、11月3日(火)・祝

日(火)・祝

使わない古いふすまや
屏風を探しています

江戸・昭和までに使用されたふすまや屏風の中には、歴史的な地域の情報が書かれた紙が入っていることがあります。もし使用しない・廃棄したいふすまなどを寄贈していただける場合は、ぜひ探訪館へご連絡ください。